



# 車線逸脱交通事故の発生状況

## 令和5年中

### 1 車線逸脱交通事故の発生状況

令和5年中の車線逸脱交通事故（正面衝突・工作物衝突・路外逸脱の合計）は、前年と比較して、発生件数、負傷者数は増加し、死亡事故は23件24人（+13件+14人）と大幅に増加しました。

全人身事故に占める車線逸脱事故の割合は、発生件数では3.7%（4,033件中151件）ですが、死亡事故では52.3%（44件中23件）となりました。

【車線逸脱事故発生状況】

（令和5年中）

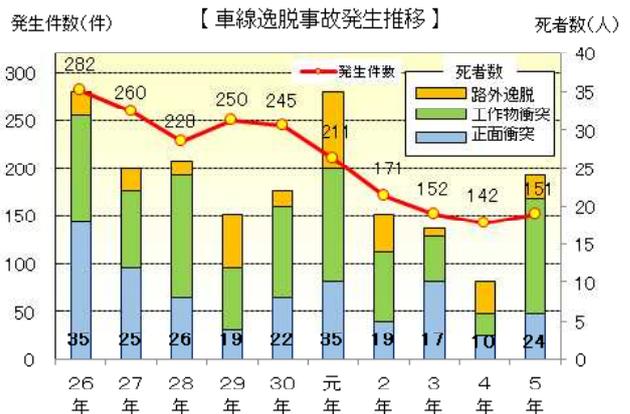
区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	151	23	24	59	128	187
前年	142	10	10	39	142	181
増減	9	13	14	20	-14	6
率	6.3	130.0	140.0	51.3	-9.9	3.3

### 2 車線逸脱事故の発生推移 （基礎データ平成26年～令和5年）

#### (1) 車線逸脱事故の発生推移

車線逸脱交通事故の発生推移（過去10年間）は、平成26年が発生件数、死者数ともにピークとなっており、以後、どちらも減少傾向にありましたが、令和5年の死者数は過去10年間で最少だった令和4年から大幅に増加しました。（令和4年→令和5年。増加率140.0%）

また、全人身交通事故に占める車線逸脱交通事故の割合は、発生件数では2.9%～3.8%で推移していますが、死者数になると27.0%～53.8%（過去10年間計562人中232人。41.3%）と高い割合を占めています。



区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
交通事故発生件数	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033
交通事故死者数	83	66	71	51	56	65	44	42	37	47
車線逸脱事故発生件数	282	260	228	250	245	211	171	152	142	151
占める割合	3.1	3.0	2.9	3.3	3.6	3.7	3.8	3.5	3.4	3.7
車線逸脱事故死者数	35	25	26	19	22	35	19	17	10	24
占める割合	42.2	37.9	36.6	37.3	39.3	53.8	43.2	40.5	27.0	51.1

#### (2) 月別発生状況

過去10年間の車線逸脱事故の月別の発生件数を見ると、1月が最も多く、次いで12月が多くなっています。

発生件数が冬季に多いのに対し、死者数は5月と、7月、9月の暖かい季節が多くなっています。

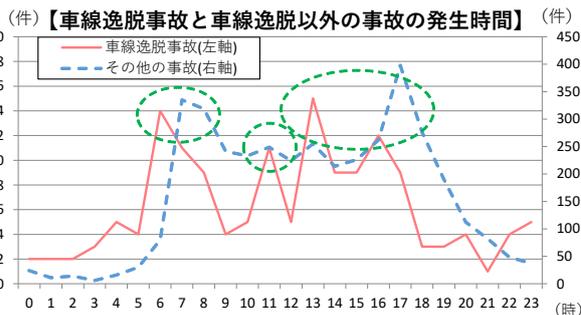


### 3 車線逸脱事故の発生特徴等 (令和5年中)

#### (1) 早朝と夕方の発生が多い

発生時間別では、午前6時台、午前11時台、午後1時台、午後4時台にピークが見られました。

その他の事故は交通量が多くなる朝夕の通勤・通学時間帯に多発しているのに対し、車線逸脱事故は、同時間帯より少し早めの時間帯及び昼過ぎの時間帯に発生が多くなる傾向が見られました。

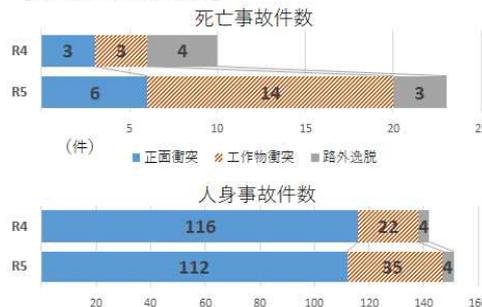


#### (2) 死亡事故は、工作物衝突が大幅に増加

死亡事故件数は前年比で+13件と増加しており、そのうち工作物衝突が14件（前年比+11件）と大幅に増加しました。

人身事故件数は前年比で+9件と増加しており、そのうち工作物衝突(+13件)が増加し、正面衝突事故(-4件)が減少、路外逸脱(±0件)が同数となりました。

【事故類型別発生状況】

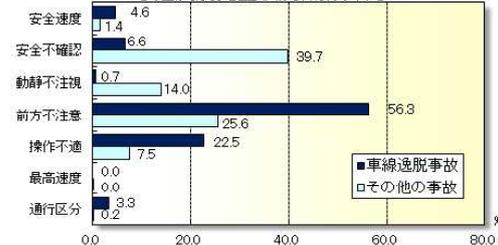


#### (3) 前方不注意、操作不適による事故が多い

第1当事者の違反別では、前方不注意が56.3%（85件）で最も多く、その他の事故と比較して30.7ポイント高くなりました。

また、操作不適が22.5%（34件）で、その他の事故と比較して15.0ポイント高くなりました。

【違反別発生状況(構成率)】



#### (4) 高齢運転者による事故が多い

第1当事者の年代別では、65歳以上の高齢者の構成率が24.5%（37人）と高く、20代の構成率も18.5%（28人）と高くなりました。

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	計	うち高齢者
第1当事者数	11	28	16	22	21	24	19	10	151	37
構成率(%)	7.3	18.5	10.6	14.6	13.9	15.9	12.6	6.6	100.0	24.5

#### (5) 仙台市以外での事故が多い

管轄署別の発生割合では、大和署、角田署、白石署、高速隊、佐沼署などで、署別の県全体に占める車線逸脱事故の構成率が、その他の事故の構成率を大きく上回りました。

仙台市内6署の構成率は32.5%（49件）で、その他の事故（50.6%。1,965件）と比較して18.2ポイント低くなりました。

【管轄署別発生状況（県全体に占める割合）】



#### (6) 死亡事故率が高い (基礎データ令和元年～令和5年)

車線逸脱事故の死亡事故率(事故件数に占める死亡事故件数の割合)について見ると約1割(12.09%)に達しており、その他の事故(0.59%)と比較して、死亡事故率が約20倍となることから、車線逸脱事故は死に至る危険性が極めて高いことが分かります。

【車線逸脱事故とその他の事故の死亡事故率】

	人身事故件数	死亡事故件数	死亡事故率
車線逸脱事故	827	100	12.09%
その他の事故	21,771	128	0.59%

